

## 町内の交通事故の発生状況



昨年(令和3年1月～12月)の県内交通事故発生件数は2,850件で前年と比べて43件減少しました。また、交通事故による死者数については37人で、前年と比べて12人減少しました。

日野町における昨年の交通事故発生件数は21件で前年と比べて2件減少しました。その内、負傷者数についても26人と前年と比べて7人減少しました。また、死亡事故については平成29年8月以降、死亡事故ゼロで推移してきましたが、昨年7月に1件、発生しています。

事故の内訳を見てみると、一番多い事故は出会い頭事故で8件でした。これは日野町での交通事故全体の38.1%を占めています。

昨年の交通事故発生状況は前年と比べると減少傾向ではあるものの引き続き発生しています。

交通事故を無くすため、運転者には他者に対する思いやりの気持ちを持った運転、特に歩行者の安全を図ること、歩行者や自転車利用者には自らを守るため交通ルールを遵守することを徹底していただくように交通安全運動を展開します。

## 『春の全国交通安全運動』が実施されます

4月6日(水)から15日(金)までの期間「春の全国交通安全運動」が実施されます。

悲惨な交通事故を無くすため、交通事故防止に向けた重点・推進項目を挙げて取り組みます。



### 交通安全運動の重点項目

- ①子どもをはじめとする歩行者の安全確保
- ②歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
- ③自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保
- ④横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県の重点項目)

◆問い合わせ先 住民課 生活環境交通担当 ☎0748-5216578

## 地域おこし協力隊 活動記

町では、令和3年11月16日から宮根通さん、吉海星来さん、令和4年2月1日から市川愛海さんが「地域おこし協力隊」として着任され、「関係人口の創出と拡大」「移住・定住の促進」に取り組んでいます。

これまで地域おこし協力隊員の活動を紹介してきましたが、今月号からは一人ずつ順番に掲載していきます。

今回、2月から活動を開始された市川隊員の意気込みを伺いました。

### 新隊員「あいさつ」(原稿執筆2月初旬)

はじめまして。市川愛海と申します。兵庫県出身の22歳、立命館大学の学生です。大学が春休みに入り、2月から日野町地域おこし協力隊として活動させていただいております。現在日野町ではすでに2人の隊員が活動されていますが、私は3か月ほど遅れての活動開始となりました。



さて、今回は現時点の私の思いについて語らせていただきます。地域おこし協力隊の1番の目標は、地域の活性化と自身が定住することです。そのために、まずは日野を知り好きになることが一歩だと考えています。また、隊員として町や町民の方々が抱える困りごとに「他人事ではなく自分事」として向き合い、結果として少しでも多くの「笑顔のきっかけ」を作りたいと考えています。まだ漠然とした目標ですが、この思いを軸にして、今後はより具体的な目標を設定していきます。そのためにも、最初の数か月は町中を動き回って、日野の良いところも困りごとも全力で探したいです。お会いした際はぜひ、日野自慢をお聞かせください。

まだまだ右も左もわからない未熟者ですが、どうぞよろしくお願い致します。

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-5216552



# まちのわだい



## 地域の方と一緒に シイタケの菌打ちを体験

2月4日(金)、桜谷小学校の4年生が同校の裏山でシイタケの菌打ちを行いました。

地域のボランティアグループ「HOTTけん桜谷隊」の協力のもと、栽培用の原木に電動ドリルで穴を空けた後、シイタケ菌を木槌で打ち込んでいきました。慣れない作業に戸惑う様子もありましたが、隊員の方に丁寧に教えてもらいながら作業を進め、だんだんと上達していききました。

シイタケは1年半ほどで収穫できるそうので、体験した児童は「育つのが楽しみ、菌打ちは楽しかった」と話していました。

菌打ちの後には、日本野鳥の会から寄贈された巣箱を設置。児童達は春に鳥がやってくるのが楽しくなりました。

丁寧を教えてもらい、上手にできました



## 地域で子育てを応援 フードドライブ+α

2月27日(日)、勤労福祉会館で「日野町子育て応援フードドライブ+α」が開催されました。

これは、ご家庭で使いきれない「未使用食品・日用品」や、お子さんが使っていないまだ使える「学用品」などを提供いただき、必要としている子育て家庭にお渡しする地域からの応援です。

町内の皆さんの温かい思いにより、3,619点の品を提供いただき、当日は子育て家庭51世帯137人が来場し、会場はにぎわいました。

来場された方は「子どもが進学するタイミングだったのでとてもありがたかったです」と笑顔で話されていました。

「もったいない」から「ありがとう」へ



## 町の魅力を世界に発信 ウィキペディアタウンIN日野

2月27日(日)、町立図書館でウィキペディアタウンIN日野が開催されました。

これは、誰でも編集が可能なインターネット上の百科事典「ウィキペディア」に町の情報を掲載して発信する企画です。

参加された方は、近江日野商人ふるさと館に訪れたり、観光ボランティアガイドの説明を聞きながら町並みを散策したりした後に、町立図書館の郷土資料コーナーの資料を活用してウィキペディアの「近江日野商人ふるさと館」「近江日野商人館」「信楽院」の記事を新たに作成し、「馬見岡綿向神社」の記事に加筆されました。

参加された方は「まちを歩いたり、調べたりして地域のことを知る良いきっかけになりました」と話されました。

まち歩き×魅力発見  
×地域資源活用×  
情報発信